

静岡県熱海市における 令和3年7月1日からの大雨に係る災害派遣について

概要	<ul style="list-style-type: none">○ 7月3日（土）午前、静岡県熱海市内の住宅地域で土石流が発生。同日1230、静岡県知事からの災害派遣要請を受理。○ 7月18日（日）現在、自衛隊は、約790名の態勢をもって、被災現場に約340名、重機14両を投入し、警察・消防と連携して人命救助活動等を実施。○ 7月18日（日）、第34普通科連隊及び第32普通科連隊の隊員が計2名を発見・救助（その後、警察により死亡を確認）○ 岸防衛大臣による現場視察及び活動に従事する隊員に対する激励を実施
活動実績	<p>人命救助活動等【7月3日～17日】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 被災現場における活動人員等：延べ約6,060名○ 活動部隊：陸上自衛隊第34普通科連隊(板妻)、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊(朝霞)、第1戦車大隊(駒門)、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等○ 使用装備：重機14両、ヘリ（UH-1）2機、全天候型ドローン7機(最大時)、災害救助犬5頭(最大時)等○ 救助実績：13名（うち9名について警察により死亡を確認）○ 道路啓開：国道135号線及び活動地域付近の道路上に堆積した土砂等を除去し、計約770mを啓開
本日（18日）の活動	<p>引き続き、以下の活動等を実施</p> <p>1 人命救助活動</p> <ul style="list-style-type: none">○ 0600以降、陸上自衛隊第34普通科連隊（板妻）、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊（朝霞）等の人員約330名により、重機14両（掩体掘削機×2、油圧ショベル×2、バケットローダ×1、小型ドーザ×9）を用いた人命救助活動等を実施。○ 7月18日（日）、第34普通科連隊及び第32普通科連隊の隊員が計2名を発見・救助（その後、警察により死亡を確認） <p>2 連絡員の派遣</p> <p>静岡県庁に2名、熱海市役所に2名、伊豆山現地本部に5名の連絡員を派遣。</p>

活動状況（熱海市）



防衛大臣による現場視察



防衛大臣による隊員激励



搜索活動(第34普通科連隊)



搜索活動(第32普通科連隊)



搜索のためのがれき撤去(第1施設大隊)